

議長候補としての所信表明の機会を頂きましたので、私の考えと目指したいものを述べさせていただきます。

市議会議長の役割は、議会を代表して、中立かつ公平な職務の遂行に努めると共に、民主的かつ効率的な議会運営を努める事は、言わずと知れたことです。

議会を代表すると言うからには、議会と議員の役割を明確にしておく必要があります。

教科書的には、議会の役割は、3大機能として議決機能・監視機能・政策提案機能であり、議員の役割は、それらの機能の円滑な発揮のために、調査研究と議員同士の議論を活発に行い、住民意思も反映させていくことと言えるでしょう。

私は、議長にさせて頂きましたら、この教科書的役割の最大発揮の為に、議会の見える化と活性化及び地方議会の根本である二元代表制の行使を、本腰を入れて推進いたします。

なぜ、そうしたいのか説明します。

先に述べた議会と議員の役割、それが現在、円滑にいつているのでしょうか。その中の、住民意思の反映を取ってみると、多くの住民が、議員と議会に対する評価を低く見ている、住民との考え方などの乖離が大きいと感じているのではないかと思います。

これは、選挙の投票率低下や議会傍聴者の数、映像配信の視聴者数からも推察できます。昨年の市議選が無投票であったこともこの要因の一つとなっていたとも言えるでしょう。単なる無関心ではなく、議員は何してるのか、不満はあるがどうせ変わらないと言う意思ある無関心ではないのかと私は考えます。

極端なことを言えば、この状況は議会制民主主義崩壊の前兆期ではないかとさえ思います。

それでは、その原因が何で、どうすればいいのでしょうか。

私は、住民の議員活動に対する理解が薄いことと誤解があると考えますので、その解消を目指し、議会の見える化、見せ方を改革する為に、今以上のSNS活用でメルマガなども導入し時代にあった情報発信と、議会から住民側に出向き、議会報告のみならず案件説明や意見聴取などにより、積極的な情報収集も行うこ

とも実現させたいと考えています。

これらは議会の活性化にも共通しますが、根本として議員は住民の負託を受けた住民を代表する立場である事から、議員それぞれがそれぞれの支持者の負託に応える為に、皆一緒と言うことは無いでしょうから、議員同士で十分な討論を行い、当局案件に対しても協議し審議する必要があるのです、そこにも重点を置いた議会運営をいたします。そして、その課程や結論を公表して行きます。

その方法として、議会としての記者会見や先ほどのSNSなども考えています。そして、二元代表制についてですが、これについては議案採決はしているが、全て可決と言う、まるで議員内閣制なのと疑いたくなるように、全く機能していません。

これは、焼津市が、というか地方議会の多くが、首長与党と野党と言う立場を取り、首長と与党は同意見とするのが常態化してしまったことにあると考えますが、これは大きな誤りです。先ほども述べましたが、私たち議員は21人それぞれの支援者などから多様な意見を吸い上げることができ、市長とはその情報収集に雲泥の差があります。

全ての議案と市長方針に賛成としている方々も、よく考えてください。市の決定事項や議案決議など市長の判断が、全て快諾とか大賛成で全く文句無いと市民から聞いていますか。多少でも異論や意見を聞いているのではと思います。それと、皆さん自身も市長とは違った考えなど、意見や異論も、持たれている事もあると思います。

そのような事は事前に市長と協議しているのかもしれませんが、それは議会行動では無く、議員の単独行動で、それは市民には見えないのです。私たちの行動を

多くの市民に理解いただくためには、その市長との協議などの努力を、議会の場等で発揮して欲しいのです。

そこで、二元代表制の本来機能を高めるのです。違った意見があっても当たり前、その上で賛成、反対をすれば良いのです。

地方自治の本旨として、2原則があります。

1 地方公共団体は国の出先機関ではなく、独立した団体として自立して自治を行うと言う団体自治。

2 地方自治は、住民の意志に基づいて行うと言う住民自治ですが、この本旨はそのまま議員にも求められているのです。

2000年4月に分権一括法が施行されました。国からの機関委任事務の廃止など、このコンセプトは地方分権にあります。

20年も経ってしまいましたが、この考え方を活かしたいのです。地方が力をつけて国を動かす意気込みで、市長と私たち議員は対等で意見を交わすと言う二元代表制の本領を発揮したいのです。

私たち議員一同、今まで以上に活発な意見を交わしていきましょう。それを市民に見ていただきましょう。

私はそのような議会を目指し、議員と市民との乖離の根源を解消していきます。

まだやりたい事はありますが、時間の制約もありますので、以上を私の所信表明といたします。

この思いを何卒、ご理解いただけますようお願い致します。